

安全データシート



1. 化学品及び会社情報

法人名 : 国立研究開発法人産業技術総合研究所
 住所 : 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当部門 : 計量標準総合センター 計量標準普及センター 標準物質認証管理室
 担当者 : 認証標準物質担当
 電話番号 : 029-861-4059 ファックス番号 : 029-861-4009
 緊急連絡電話番号 : 同上

作成日 : 2007年8月29日

改正日 : 2020年1月31日

整理番号 : 4036001

化学品の名称(製品名) : 認証標準物質 NMIJ CRM 4036-a ジブロモクロロメタン
 Dibromochloromethane

推奨用途及び使用上の制限 : 本標準物質は、分析機器の校正に用いる他、機器の精度管理、分析方法や分析装置の妥当性確認に用いることができる。
 試験・研究用以外には使用しないこと。
 本標準物質は、標準物質（日本産業規格（JIS）Q0030に定められるもの）である。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 急性毒性（経口） : 区分4
 水生環境有毒性（急性） : 区分3

GHSラベル要素 :



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害（経口）
 水生生物に有害
 その他の有害性情報 : 吸入又は皮膚吸収により中程度の中毒作用を起こす。肝臓、腎臓皮膚、神経系に障害を起こす。蒸気に暴露されると、頭痛、疲労感、悪心、嘔吐、めまい、視力障害等を起こす。症状（肝臓・腎臓障害）が数時間ないし数日後に現れることがある。ヒトに対する発がん性については分類できない。

注意書き : [安全対策]
 環境への放出を避けること。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 [応急措置]
 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。口をすすぐこと。
 [保管]

遮光し、-20℃程度で清浄な場所に保存すること。

[廃棄]

内容物／容器を国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: ジブロモクロロメタン
別名	: クロロジブロモメタン
化学特性	: ClCHBr_2
分子量	: 208.28
CAS 番号	: 124-48-1
含有量	: 99.97 %
官報公示整理番号(化審法)	: -
官報公示整理番号(安衛法)	: -

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴等は脱がせ、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	: 清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 水でよく口の中を洗浄し、食塩水などを飲ませて吐かせる。安静保温に努め、直ちに医師の手当を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 頭痛、疲労感、悪心、嘔吐、めまい、視力障害。
応急処置をする者の保護	: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 通常の手配いでは不燃性。一般周辺消火剤を使用。
火災時の特有危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム（またはガス）が発生することがある。
特有の消火方法	: 火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護	: 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける空気呼吸器等の保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
------------	--------------------------

保護具及び緊急時措置	: 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項	: 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和	: 漏出した液は、ウエス、雑巾または土砂等に吸着させて空容器に回収する。
二次災害の防止策	: 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: -
局所排気・全体換気	: 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。
安全取扱注意事項	: 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。 漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに蒸気を発生させない。 使用後は容器を密閉する。 取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。 休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではいない。 取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。 吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。 屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件	: 遮光し、-20℃程度で清浄な場所に保存すること。
安全な容器包装材料	: ガラス

※標準物質としての適切な保管条件、使用に関する注意事項については、認証書を参照のこと。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度

・ACGIH TLV-TWA	: 設定されていない
・日本産業衛生学会勧告値	: 設定されていない
・OSHA PEL TWA	: 設定されていない

設備対策

換気・排気	: 局所排気装置又は全体換気装置。
安全管理・ガスの検知	: 測定器、検知管。
貯蔵上の注意	: 床面に沿って換気。密封。可燃性及び還元性物質、強酸化剤から

離しておく。

保護具

- 呼吸器の保護具 : 有機ガス用防毒マスク。
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋。
- 目の保護具 : 安全ゴーグル。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業。

9. 物理的及び化学的性質

- ・外観 : 液体
- ・色 : 無色透明
- ・臭い : 特異臭
- ・pH : データなし
- ・融点 : -22°C
- ・沸点 : 約 120°C
- ・引火点 : データなし
- ・爆発範囲 : データなし
- ・蒸気圧 : データなし
- ・相対蒸気密度 (空気 = 1) : データなし
- ・比重又は嵩比重 : 2.40g/ml (20°C)
- ・溶解度 : エタノール及びアセトンに極めて溶けやすく、水にほとんど溶けない。
- ・n-オクタノール／
水分配係数 (log Po/w) : 2.09
- ・自然発火温度 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・燃焼性 : データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性

- ・光、湿気により変質する。

◇反応性

- ・加熱すると分解し、Cl⁻、Br⁻等の有毒なガスを発生する。

◇危険有害反応性

- ・データなし

◇避けるべき条件

- ・日光、熱、湿気。

◇混触危険物質

- ・データなし

◇危険有害な分解生成物

- ・一酸化炭素、ハロゲン化物。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 ラット LD50 : 370 mg/kg (RTECS)
	経口 マウス LD50 : 800 mg/kg (RTECS)
発がん性	EPA グループ C (ヒト発がん性がある可能性がある物質) グループ 3 (ヒトに対する発がん性については分類できない) (IARC)。

12. 環境影響情報

生態毒性

- ・ヒメダカ ヒメダカ LC50 : 79 mg/L/96hr。

分解性・濃縮性

- ・データなし

生体蓄積性

- ・データなし

土壌中への移動性

- ・データなし

オゾン層への有害性

- ・データなし

13. 廃棄上の注意

- ・アフターバーナーおよびスクラバーを具備した焼却炉の中で焼却する。

14. 輸送上の注意

国連番号	: 2810
国連分類	: クラス 6.1
品名	: その他の毒物、有機物、液体
容器等級	: PG III
ICAO/IATA	: クラス6.1 等級 III
海洋汚染物質	: 該当
注意事項	: 直射日光を避け、遮光し、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、 -20 °C程度で慎重に運搬する。

15. 適用法令

◇船舶安全法

- ・その他の毒物

◇海洋汚染防止法

- ・有害液体物質 D 類物質等

◇特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

- ・特定第一種指定化学物質 No. 209

16. その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。
